

平成 29 年度  
社会福祉法人犬山市社会福祉協議会

事業計画



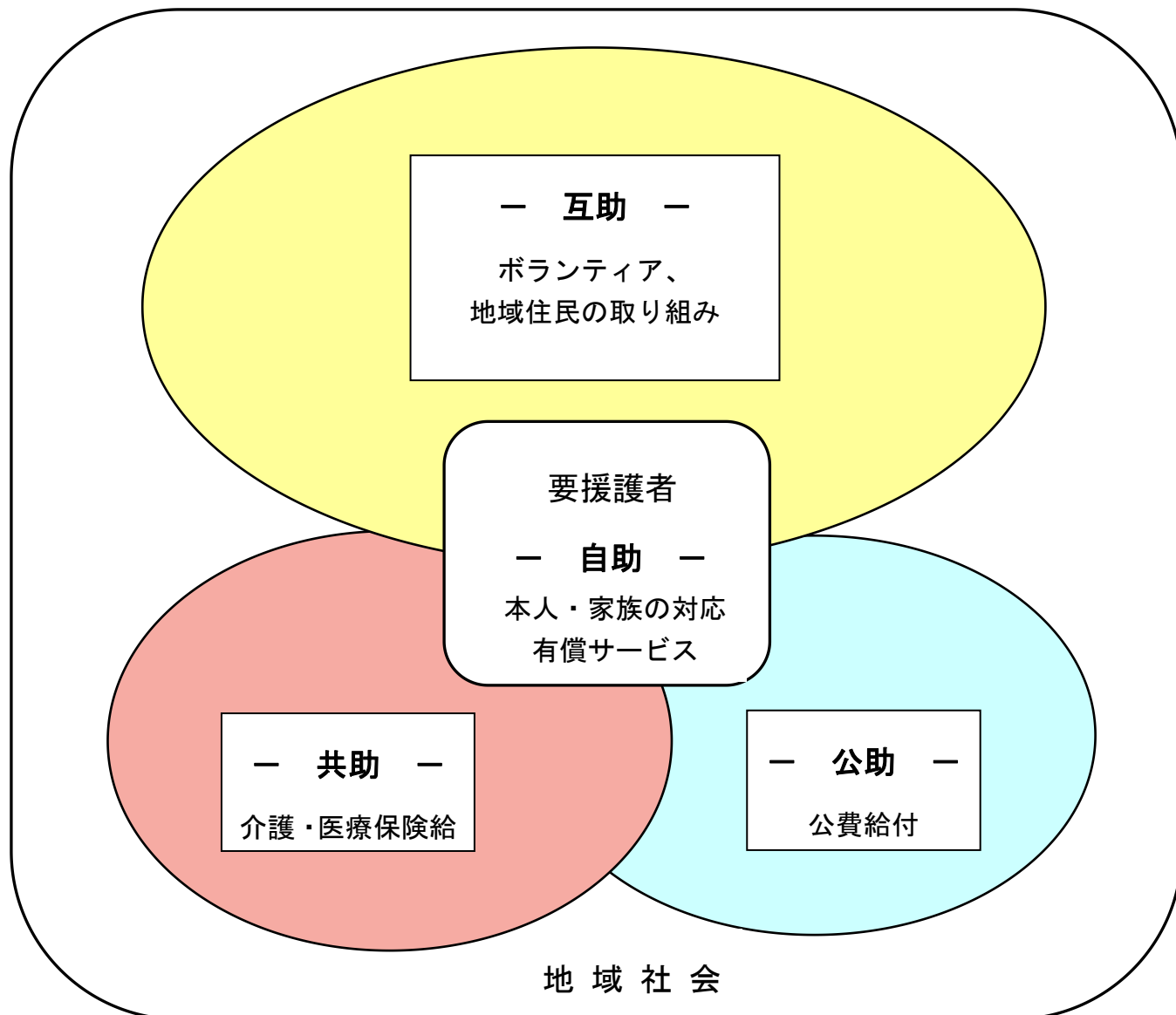
社会福祉協議会のシンボルマーク

社会福祉及び社協の「社」を図案化し、「手を取り合って明るい、  
幸せな社会を建設する姿」を表現していて、全国の都道府県、  
市区町村社協で共通のマークとして使用しています。

(昭和 47 年 6 月 全国社会福祉協議会 制定)

## □地域福祉のイメージ図

地域福祉とは、要援護者が地域で生活していくための自助、互助、共助、公助のさまざまな支援による支え合いの仕組みづくりです。



### □参考資料

犬山市人口	74,709人 (74,726人)	世帯数	30,244世帯 (29,816世帯)
高齢者人口	20,620人 (20,169人)	高齢化率	27.6% (26.99%)
介護保険要介護・要支援認定者数	2,974人 (2,829人)		
生活保護受給者	248世帯 346人 (236世帯 315人)	※年度平均	
身体障害者手帳保持者	2,504人 (2,562人)		
療育手帳保持者	531人 (516人)		
精神障害者保健福祉手帳保持者	552人 (523人)		
母子父子家庭医療費対象者数	1,083人 (1,115人)	( )	内は前年度数値
			※平成28年3月31日現在 (一部4月1日)

## ■基本方針

犬山市社会福祉協議会（以下「社協」という。）は、昭和57年6月に社会福祉法人として認可を得、公益性・公共性のある団体として、今日までの30年余りにわたって行政、地域住民、民生児童委員、ボランティア、障がい者等関係団体と連絡、調整を主とした地域福祉事業をおこなってきました。

またあわせて、平成に入ってから超高齢化社会の到来を見据えた市高齢者在宅福祉施策の担い手として委託事業の受託を進め、平成12年の介護保険制度の施行以後は、市委託事業を自主事業へと転換し、介護保険事業所の経営に努め事業型社協としても活動を進めてまいりました。しかしながら、近年、他事業所との競合激化等の理由により事業採算の悪化を余儀なくされています。これにより、これまで介護保険事業の収益を前提とした人員体制と自主事業をおこなってきた社協にとり、現在、基金の取崩による補填で予算をまかなう非常に厳しい財政状況に陥っています。

一方で、「母子世帯や子どもの貧困問題」、「孤立死」、「ひきこもり」や「虐待」などの地域の福祉・生活課題は深刻化し広がり止めません。また、犬山市においても本年4月から「介護予防・日常生活支援総合事業」が始まり、住民相互の生活支援サービスの構築が求められています。

こうした状況の中、本年度は社協として果たすべき役割を検討し、町内会、ボランティア、老人クラブなど地域住民が自主的におこなう「地域サロンの開催」、「見守り、安否確認」、「外出支援」、「買い物、調理、掃除などの家事支援」などの生活支援・介護予防サービスが地域で中で拡がっていくよう働きかけを強めるとともに支援の仕組みを整えていきます。加えて、これまで市委託事業として運営してきた「生きがいサロン」については、日常生活支援総合事業の通所型サービスA型に転換して、社協の自主事業として新たに実施していきます。利用者の皆さんの介護予防に寄与し、高い満足が得られるよう努めると同時に効率的かつ効果的な経営をめざします。

また、本年4月から施行される社会福祉法の改正による社会福祉法人制度改革の主旨に沿って、本年度は社協としても法人役員と評議員の構成と定数の見直しを実施し、各人が果たすべき役割を明確にして経営組織のガバナンス強化を図るとともに、法人経営について各人の闊達な議論がなされる場としての理事会、評議員会が機能するよう整えていきます。併せて、昨年度整備した「法令遵守規程」に沿って、事業管理について法令遵守責任者、事業管理者の責任を明らかにするとともに全職員の意識啓発をおこなっていきます。

最後に、昨年度から取り組みを始めた「発展強化計画」策定について、本年度も継続して議論を進め、社協の中長期的な展望を早期に示せるようにします。その中で、事業、財政、人員体制の現在の社協がかかえる様々な課題を明らかにすると同時に、社協が全国の自治体に存在する唯一無二の組織である強みも活かし、今後ますます重要となる住民相互による地域福祉の推進について、社協の果たすべき役割を明確にしていきます。

## ■重点推進事項

### 1. 社会福祉法人の制度改革への取り組み

制度改革の本旨である公益性・非営利性の確保、市民に対する説明責任、地域社会への貢献を徹底していきます。

- ・新たな構成員による理事会、評議員会の開催、監査の実施
- ・評議員選任・解任委員会の開催（新規事業）
- ・財務諸表、現況報告書の公表（新規事業）

### 2. 介護予防・日常生活支援総合事業への取り組み

本年4月から実施される介護予防・日常生活支援総合事業について、町内会、ボランティア、老人クラブなど地域住民が自主的におこなう「地域サロンの開催」、「見守り、安否確認」などの生活支援サービスが地域の中で広がっていくよう支援していきます。また、介護保険から分離される要支援認定相当の高齢者に地域支援事業の通所型、訪問型サービスをおこないます。

- ・ふれあいサロン開催助成の上限額引き上げ（年間48回分）
- ・ふれあいサロンスタッフ養成講座の開催（新規事業）
- ・介護予防訪問介護の実施（新規事業）
- ・介護保険適用外ヘルパー事業の実施（新規事業）

### 3. 財政基盤の安定化への取り組み

社会福祉の諸制度、地域での福祉課題などの外部環境への対応、社協の人員体制、事業内容、財務状況を精査して検討をおこない、社協の将来ビジョンやミッションを明確にします。また同時に財政基盤の安定化を目指すため、事業収支を予測し経営改善を図っていきます。

- ・発展強化計画の策定
- ・経営会議の開催（新規）

■社会福祉事業（サービス区分別による）

※本年度総予算額 206,309 千円 前年度 222,867 千円

1. 法人運営事業（本年度予算額 61,795 千円 前年度 68,890 千円）

法人の健全運営や社会・経済状況の変化に即した事業を適正におこなうため、自律的な経営基盤の強化を図るとともに、その提供する各種地域福祉サービスの質の向上ならびに事業経営の透明性の確保を果たすため次の事業をおこないます。

□法人運営事業

事業名等	内 容	備 考
(1) 正副会長会の開催	理事の中から選定された会長、副会長が法人の経営に関する重要事項について、協議をおこない基本方針を定めます。	○会長 1名 ○副会長 2名
(2) 理事会の開催	法人の業務執行に関する意思決定機関として、法人の業務執行の決定、理事の職務の執行の監督、会長及び副会長の選定及び解職をおこないます。 ○理事（13名以上16名以内） (1) 地域の福祉関係者 (2) ボランティア活動を行う団体の代表者 (3) 社会福祉事業を運営する団体の役職員 (4) 社会福祉事業について学識経験を有する者 (5) 関係行政機関の職員	
(3) 評議員会の開催	法人運営の基本ルール・体制の決定と事後的な監督をおこなう機関としての議決機関として、定款の変更、理事・監事の選任及び解任、事業計画・予算、事業報告・決算等の承認、決議等をおこないます。 ○評議員（18名以上23名以内） (1) 地域の福祉関係者 (2) 地域の経済団体の代表者 (3) 社会福祉に関する活動を行う団体の代表者 (4) 社会福祉事業を運営する団体の役職員 (5) 社会福祉に関する学識経験者 (6) 社会福祉法人職員の経験者	
(4) 監査の実施	法人の健全経営と透明性を図るため監事による事業報告、決算内容等の年1回の監査をおこないます。 ○監事（3名以内） (1) 地域の福祉関係者 (2) 社会福祉事業について学識経験を有する者 (3) 財務管理について学識経験を有する者	

<p>(5) 評議員選任・解任委員会の開催 【新規】</p>	<p>理事会において推薦を受けた評議員候補者について、適否を判断し選任をおこないます。また、理事会により解任の提案を受けた評議員について、適否を判断し解任をおこないます。</p>	<p>○選任・解任委員 5名 外部委員 3名 監事 1名 事務局員 1名</p>
<p>(6) 財務諸表、現況報告書等の公表 【新規】</p>	<p>法人事業運営の透明性の向上を図るため、財務諸表、現況報告書等を公表します。</p>	<p>○財務諸表等電子開示システムでの公表 ○ホームページ</p>
<p>(7) 会員募集</p>	<p>住民による「福祉のまちづくり」への間接参加、社協の運営、自主事業の実施の為に社協支部の協力を得て会員募集をおこないます。</p>	<p>○一般会員 会費 500円 特別会員 " 2,000円 法人会員 " 3,000円 施設会員 " 2,000円 (7月:会員募集強化月間)</p>
<p>(8) ホームページの公開、情報提供</p>	<p>リニューアルしたホームページにより、広い世代に向けて社協や各種事業について情報提供をおこないます。また、随時更新をおこない、最新情報の提供をしていきます。</p>	<p>○HPアドレス <a href="http://inuyama-welfare.net/">http://inuyama-welfare.net/</a></p>
<p>(9) 「発展強化計画」の策定</p>	<p>現在の社協がかかえる課題を分析し、改善をおこない、今後の社協の中長期的な展望を示すため、発展強化計画の策定をすすめます。</p>	
<p>(10) 職員研修</p>	<p>組織力の向上、職員のスキル・意識の向上のため、内部研修をおこないます。また県社協等が開催する外部研修に積極的に参加し、その内容の共有を図ります。</p>	<p>○全体研修 ○外部研修</p>
<p>(11) 経営会議の開催 【新規】</p>	<p>社協が経営する事業の各責任者が出席し、各月の収支状況の把握、現状の成果、課題を共有し、各事業の採算向上をめざす会議を開催します。</p>	<p>○月1回</p>

(12) 資格取得の奨励	業務に必要な資格取得を奨励するため、職員の資格取得、更新について支援をおこないます。	○介護支援専門員 障害者相談支援専門員 社会福祉士 等
(13) 関係機関とのネットワーク	関係機関の開催する会議に参加し、市民の声を聴くとともに共に協働して課題に取り組みます。	○民生児童委員協議会 ○ボランティア連絡協議会 ○社協支部総会 等
(14) 民間助成等の情報提供	施設・ボランティア団体等への情報提供、及び申請があった場合の推薦書の交付をおこないます。	○生命保険協会、宝くじ助成、車両競技公益資金記念財団、日本財団 等
(15) 実習生の受入れ	社会福祉の現場で活動することをめざす学生等に人材育成の一環として実習の場を提供します。	○社会福祉士実習生 介護職員初任者研修 実習生 等
(16) 避難訓練の実施	福祉会館の全館避難訓練に参加、協力します。	○年 2 回

2. 地域福祉推進事業（本年度予算額 7,318 千円 前年度 7,698 千円）

「住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせるまちづくり」をテーマに掲げる社協として、住民どうしのつながり、支え合いの中で、あらゆる人が自分らしく、心豊かに地域の中で生活できる仕組みづくりに取り組んでいきます。

また、住民にとって役に立ち、利用しやすいサービスを提供し、「社協」への市民の認知と理解の向上に努めます。

□地域福祉事業【H29 予算 6,410 千円】

事業名等	内 容	備 考
(1) 社協支部の設置と活動支援	民生児童委員、町会長などで構成される社協支部（犬山北、犬山南、城東、羽黒、楽田、池野）を設け、社協活動への住民参加として会員募集や共同募金運動を進めていただくとともに、支部の自主的な取り組みによる身近な地域での住民相互の福祉活動を支援していきます。	【H29 予算 2,816 千円】 ○支部独自事業 ・福祉施設慰問 ・まちなか茶論 ・青色パトローカーによる防犯交通安全運動 ・高齢者世帯配食サービス ・クロリティ交流会 等
(2) ふれあいサロンへの支援	地域でのつながりづくりのために、住民が自ら取り組む、仲間づくりや異世代交流を目的とする「つどいの場」の開設を支援していきます。 また、提携しているフードバンクからの食糧支援として飲料品や茶菓子等の提供をおこないます。	【H29 予算 1,160 千円】 ○開催 1 回あたり 1,000 円を助成(上限 48,000 円) ○新規立上げ費用 15,000 円を助成 ○食糧支援 年 3 回まで
(3) 福祉車両の貸出し	歩行の困難な車いす利用者等の通院、買物、旅行など外出・社会参加の支援のために福祉車両を貸出します。  ・ 7 人乗りリフトアップ車両 1 台 ・ 3 人乗り車いすスロープ車両 2 台	【H29 予算 399 千円】 ○無料(4 日間以内) 燃料費利用者負担 10 キロ/100 円
(4) 車いすの貸出し	ケガや病気で歩行が困難な在宅で暮らす高齢者等で一時的に車いすが必要な方に車いすを貸出します。	【H29 予算 80 千円】 ○無料(3 ヶ月間を上限)



(5) プロジェクター、スクリーンの貸出し	ボランティア団体等の研修やイベントに活用できるプロジェクターとスクリーンを貸出します。	○無料
(6) 綿菓子機、ポップコーン機の貸出し	町内会、子ども会、ボランティア団体、福祉団体等が開催する非営利のイベントに活用できる機材を貸出します。	○無料
(7) 高速印刷機の利用提供	町内会、子ども会、ボランティア団体、福祉団体等が非営利でおこなう会議や行事などで使用する資料、チラシ作成のために印刷機の利用提供をします。	【H29 予算 735 千円】 ○無料(印刷用紙持参)
(8) 紙折り機の利用提供	高速印刷機で印刷した資料やチラシの紙折りを効率的に作業するため紙折り機を設置し利用提供します。	○無料
(9) 広報紙「社協だより」の発行	地域福祉に関する情報発信と社協の活動、事業内容について市広報紙との同時配布により広く市民に周知を図ります。	【H29 予算 1,000 千円】 ○年 3 回(7・10・2 月) 26,800 部発行
(10) 「健康・福祉まつり」の開催	市内の福祉・ボランティア団体や福祉施設と協力してイベントを開催し、広く市民の参加を得て、福祉に対する理解を深めます。	【H29 予算 160 千円】 ○市民健康館自主事業実行委員会との共催により年 1 回秋に開催

□結婚相談事業【H29 予算 758 千円】

事業名等	内 容	備 考
(1) 結婚相談所の開設	出会いと良縁を提供する場として、専任相談員を配置し開設します。 また登録者等が本人同士で直接会って、気の合う人を探せるようにお見合い交流会を開催します。	○相談員 5 名 毎週土曜日、第 2 水曜日 登録料 1,000 円 (1 年間有効)

□心配ごと相談事業【H29 予算 150 千円】

事業名等	内 容	備 考
(1)心配ごと相談	困り事や心配ごとを身近な人に話せずに悩んでいる方の為に、相談の場を開いています。また相談内容に応じて専門相談や関係機関につなげていきます。	○第1・3木曜日開設 相談員5名

3. ボランティア活動支援事業（本年度予算額 4,179 千円 前年度 9,737 千円）

男性の平均寿命が80歳を超え、女性の平均寿命が90歳に近づく中で、高齢者の社会参加や健康寿命の伸長が大切なテーマとなっており、豊富な知識、経験とスキルを蓄えた元気な高齢者が無理なく社会参加・貢献できる仕組みづくりが求められています。ボランティア活動を希望する人と支援を希望する人とのマッチングとコーディネートをおこなうボランティアセンターで、活動に関する相談、支援をおこなうとともに、情報発信と各種養成講座を開催しボランティアの輪を広めていきます。

□ボランティアセンター事業【H29 予算 2,310 千円】

事業名等	内 容	備 考
(1)ボランティア 団体・個人の登録	ボランティア活動をしている団体と個人の活動を把握し、活動調整や情報提供、問題解決をおこないます。	
(2)ボランティア 保険の加入促進	安心してボランティア活動をおこなっていくためにボランティア保険制度の周知と加入をすすめていきます。	○保険料 <活動保険：年間> 基本プラン 250～350 円 天災プラン 400～590 円 <行事保険：1日> 30 円/人～134 円/人
(3)ボランティア情 報コーナーの設 置	福祉会館1階ロビーに情報板を設置し、団体の活動や行事の案内等を掲示します。	
(4)ボランティアセ ンターだよりの 発行	ボランティアセンター広報紙「もおやっこ」を「社協だよりの」内に掲載し、ボランティア活動に関する情報や講座・行事の開催を市民に周知します。	【H29 予算 200 千円】 ○年3回発行

(5) ボランティア関連図書等の貸出し	ボランティア活動に興味・関心のある方にボランティアに関する図書やDVDを貸出します。	○ボランティアロビーに設置
(6) ボランティア相談員の配置	専任相談員を配置し、ボランティア活動を希望する人と依頼したい人の調整や相談をおこないます。	【H29 予算 54 千円】 ○毎週月曜日開設
(7) 福祉体験研修	市新任職員を対象に、障がい者の特性を理解し、コミュニケーションスキルを習得できるように障がい者とボランティアを講師にして開催します。	【H29 予算 40 千円】 ○年 1 回開催
(8) 西尾張ボランティアフェスティバルへの協力、参加	西尾張の 14 市町村のボランティアが一堂に会し、交流や活動紹介をおこなう集会の開催に協力、参加します。	【H29 予算 25 千円】 ○開催場所 一宮市

#### □ボランティア育成事業【H29 予算 1,869 千円】

事業名等	内 容	備 考
(1) ふれあいサロンスタッフ養成講座の開催【新規】	地域の憩いの場である「ふれあいサロン」を企画、運営する方を育成します。既に運営をされている方への情報提供や情報交換会も合わせておこないます。	【H29 予算 100 千円】 ○年 1 回開催
(2) 手話講座の開催	ボランティアサークルと協働して入門講座を開催し、手話の普及とボランティアの育成に努めます。	【H29 予算 80 千円】 ○年 1 回開催 ・ 課程 1 日
(3) 要約筆記者養成講座の開催	ボランティアサークルと協働して講座を開催し、要約筆記の普及とボランティアの育成に努めます。	【H29 予算 176 千円】 ○年 1 回開催 ・ 課程 8 日 講義・実技 8 回
(4) 視覚障がい者支援ボランティア養成講座の開催	目の不自由な方の外出支援や日常生活を支援するためのガイドヘルプや点訳、音訳についての基本を学び、ボランティアの育成に努めます。	【H29 予算 110 千円】 ○年 1 回開催 ・ 課程 3 日 講義・実技 8 回

(5) 災害ボランティアコーディネーター養成講座の開催	災害発生時にその被害の復旧や復興の支援に駆けつけるボランティアの調整拠点となる災害ボランティアセンターのスタッフを養成します。	【H29 予算 73 千円】 ○年 1 回開催 ・ 課程 2 日
(6) 夏休み福祉体験学習の実施	市内小中学校の児童・生徒を対象に、福祉について理解するきっかけづくりの為、夏休みを利用して福祉施設での体験学習をおこないます。	【H29 予算 180 千円】 ○年 1 回開催 ・ 体験福祉施設 子ども未来園、児童センター、老人ホーム、障がい者施設等
(7) ボランティア連絡協議会への活動支援	ボランティア団体のネットワークを作り活動の場を広げるために相互交流、情報交換や研修会をおこなう連絡協議会に活動助成します。	【H29 予算 400 千円】 ○登録ボランティア団体 22 グループ 個人 4 名
(8) ボランティア団体への活動支援	ボランティアセンターに登録しているボランティア団体を対象として、活動費助成をおこないます。	【H29 予算 750 千円】 ○延べ活動人数に応じて 6,000～24,000 円を助成 (別途連協加入 3,000 円)

#### 4. 共同募金配分金事業(本年度予算額 13,117 千円 前年度予算額 13,213 千円)

##### □一般募金配分金事業【H29 予算 7,257 千円】

市民の皆さんから寄せられた「赤い羽根共同募金」の配分金を財源として、地域の福祉課題の解決や乳児から高齢者までの幅広い世代の福祉のために事業をおこないます。

事業名等	内 容	備 考
(1) 95 歳敬老記念品の贈呈	95 歳の高齢者を対象に、ご長寿をお祝いして、記念品を贈呈します。	【H29 予算 255 千円】
(2) 初めて出会う絵本プレゼント	生後 5 か月児を対象に、読み聞かせを通じた保護者とのふれあいや読書のきっかけづくりのため絵本をプレゼントします。	【H29 予算 600 千円】 ○絵本 2 冊

(3) 修学旅行支度金の助成	生活保護等低所得世帯及び母子父子家庭医療費を受給している児童・生徒を対象に一生の思い出となる修学旅行の参加を支援します。	【H29 予算 2,150 千円】 ○助成額 小学生 10,000 円 中学生 15,000 円 高校生 20,000 円
(4) 手押し車(シルバーカー)購入費一部助成	歩行の不安定な 65 歳以上の高齢者の外出支援の為に、手押し車(シルバーカー)の購入を助成します。	【H29 予算 600 千円】 ○定額 5,000 円
(5) 車いす購入費一部助成	介護保険や障害者福祉サービスの対象に当てはまらない方が車いすを購入する場合に助成をおこないます。	【H29 予算 120 千円】 ○定額 8,000 円
(6) 弁護士による法律相談	相続や離婚などの事案について、弁護士が法的なアドバイスをおこないます。	【H29 予算 285 千円】 ○月 1 回 (9 件) 第 1 木曜日開設(無料)
(7) 「福祉実践教室」の開催	福祉教育として、市内小中学校で児童・生徒を対象に障がい者による講話や車いす、手話、点字、要約筆記、盲導犬、ガイドヘルプ等の福祉体験をボランティアの協力を得ておこないます。	【H29 予算 500 千円】 ○実施校 小学校 10 校 中学校 4 校
(8) 災害見舞金支給	地震、暴風雨等の自然災害や火災により、家屋に被害に遭った被災者へ見舞金を贈ります。	【H29 予算 70 千円】 ○家屋全壊 30,000 円 家屋半壊 15,000 円 床上浸水 10,000 円
(9) 雇用準備資金の貸付	解雇や派遣切り等で職を失い、生活費や再就職活動資金が不足している者に資金貸付をおこないます。	【H29 予算 600 千円】 ○貸付上限額 30,000 円 無利子、据置期間 3 ヶ月
(10) 生活困窮者支援資金の貸付	日々の生活に一時的に困っている生活困窮者に資金貸付をおこないます。	【H29 予算 360 千円】 ○貸付上限額 30,000 円 無利子、据置期間 3 ヶ月

<p>(11) 法外援護の実施</p>	<p>資金貸付の要件を満たさず、日々の食費に困るような生活困窮者や行旅困窮者に援護金を支給します。 また、緊急に食糧支援が必要な場合に提携しているフードバンクに要請して食糧支援をおこないます。</p>	<p>【H29 予算 50 千円】 ○支給額 生活費 最高 10,000 円 行旅人 最小限の旅費 ○食糧支援 1 回 1,500 円(フードバンク手数料) 3 週間分相当食糧を支給 1 件 3 回まで</p>
<p>(12) 子どもの遊び場遊具の助成</p>	<p>町内管理の遊び場の遊具等の修理費を助成します。</p>	<p>【H29 予算 100 千円】 ○修理費の 3/4 以内 上限 100,000 円</p>
<p>(13) 福祉団体への活動支援</p>	<p>【H29 予算 1,334 千円】 地域福祉を推進する福祉団体の活動に対し助成をおこないます。 ○助成団体 民生児童委員協議会、身体障害者福祉協会、更生保護女性会、心身障害児(者)父母の会、尾北地区聴覚障害者福祉協会、単位子ども会、市子供会育成連絡協議会、しらゆり会</p>	
<p>(14) 社協だより「共同募金」の特集</p>	<p>赤い羽根共同募金運動の啓発の為、その趣旨や使いみちについて周知するために社協広報紙に掲載します。</p>	<p>【H29 予算 200 千円】 ○年 1 回(10 月発行)</p>

□歳末たすけあい配分金事業【H29 予算 5,860 千円】

市民の皆さんから寄せられた「歳末たすけあい募金」を財源として、支援を必要とする方々が地域で安心して暮らせる一助となるように福祉活動をおこないます。

事業名等	内 容	備 考
(1) 歳末慰問金品の贈呈	<p>低所得者、母子世帯、障がい者及び施設入所者等に慰問金(品)を贈ります。</p> <p>○対象者・施設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活保護世帯</li> <li>・準要保護世帯</li> <li>・特別障害者手当等受給者</li> <li>・市内外母子生活支援施設(キルシェハイム等)入所者</li> <li>・市内福祉施設入所者(児童、障害者施設) <ul style="list-style-type: none"> <li>溢愛館、ひかり学園、水平館(介護老人施設、乳児院)</li> <li>ぬく森、白寿苑、さくらんぼ(養護老人ホーム、援護寮)</li> <li>養護老人ホーム、アークヒルズ</li> </ul> </li> <li>・市外福祉施設入所者(児童養護施設、身体・知的障害者(児)施設等)</li> <li>・東日本大震災による避難世帯</li> </ul>	<p>【H29 予算 4,020 千円】</p> <p>○贈呈内容(※28 年実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活保護世帯 4,000 円</li> <li>・準要保護世帯 4,000 円 +就学児童×2,000 円</li> <li>・特別障害者手当等受給者 3,000 円</li> <li>・母子生活支援施設入所者 4,000 円+2 人目以降世帯員×2,000 円</li> <li>・児童、障害者施設入所者 3,000 円</li> <li>・介護老人施設、乳児院施設に 30,000 円</li> <li>・養護老人ホーム、援護寮慰問品 1 人 1,200 円相当</li> <li>・震災避難世帯 4,000 円 +2 人目以降世帯員×2,000 円</li> </ul>
(3) 子ども会交流事業の実施	<p>地域の多世代交流を促進するため、子ども会が主催する行事等で、その地域の高齢者も参加して開催する交流会等に対し助成をします。</p>	<p>【H29 予算 400 千円】</p> <p>○助成額</p> <p>参加者一人につき 300 円 食事提供があれば 500 円 ※上限額 50,000 円</p>
(4) 視覚障がい者交流会の開催	<p>視覚障がい者支援ボランティアと利用者との交流会を開催します。</p>	<p>【H29 予算 20 千円】</p> <p>○年 1 回開催</p>
(5) いもほり交流会	<p>養護老人ホームの入所者が育てたさつま芋を子ども未来園等の子ども達と一緒にいもほりをして交流します。</p>	<p>【H29 予算 50 千円】</p>
(6) 「ボランティア	<p>広く市民を対象にボランティアについ</p>	<p>【H29 予算 400 千円】</p>

のつどい」の開催	ての関心を高め、ボランティア間の交流を深める場としての「つどい」の開催を支援します。	○年1回開催 ・主催 ボランティア 連絡協議会
(7) 福祉団体の実施する事業への助成	【H29 予算 490 千円】 福祉団体が開催する行事に対し助成をおこないます。 ○開催内容 ・市老人クラブ連合会「スポーツ大会」 ・心身障害児者父母の会「クリスマス会」 ・身体障害者福祉協会「身体障害者ふれあいクロリティ大会」 ・母子寡婦福祉会「入進学児童激励会」 ・保護司会「社会を明るくする運動」 等	
(8) 声の広報	視覚障がい者に広報「いぬやま」「社協だより」等を音読した録音テープ、CDを配付します。	【H29 予算 160 千円】 ○月2回録音、配付
(9) おもちゃ図書館、おもちゃ病院	おもちゃの貸出しをおこなう「おもちゃ図書館ポニーの部屋」とおもちゃの修理をおこなう「おもちゃ病院ポニー」をボランティアの協力を得て開設します。	【H29 予算 270 千円】 ○開設日 毎週水曜日、 第1・3土曜日
(10) こころの居場所「はなみずき」への支援	精神障がい、ひきこもり等で日頃、他者との交流の少ない方が自由に入出入りし、語らいができる場所を設け、同じ立場の人やボランティアとのかかわりにより孤立感の解消や精神的な安定を図ります。	【H29 予算 30 千円】 ○開催日時 毎月第1・3火曜日 13:00~17:00 開催 場 所：余遊亭 利用料：100 円(お茶代)



5. 居宅介護支援事業（本年度予算額 20,081 千円 前年度 31,420 千円）

□居宅介護支援事業

居宅介護支援事業(ケアマネジメント)は介護保険の要介護認定を受けられた市内の高齢者に対し、疾病、身体・認知機能、生活環境や介護者の状況などの適切なアセスメントをおこなった上で、介護支援専門員(ケアマネジャー)がその人その人に応じた個別の介護サービス計画(ケアプラン)を作成し、要介護者の尊厳を保ちながら、その人の持つ心身の機能を活かして自立した生活を過ごしていただくように支援します。

事業名等	内 容	備 考
(1)居宅介護支援 (ケアマネジ メント)	公正中立の立場で、介護支援専門員が利用者本位の介護サービス計画の作成をおこないます。 ■ケアマネジメントサイクル ・介護サービス計画の作成依頼 ・訪問面接、相談、契約 ・アセスメント(生活課題の分析抽出) ・介護サービス計画の作成 ・介護サービスの提供(依頼、調整) ・モニタリング(サービス提供状況の把握、担当者会議の開催) ・評価、再アセスメント ・介護サービス計画の修正	○介護保険法

6. 訪問介護事業（本年度予算額 36,145 千円 前年度 34,907 千円）

ホームヘルパーの派遣により介護保険制度による要介護認定を受けた高齢者及び障害者総合支援法の障がい福祉サービス、市地域生活支援事業による障がいのある方々が自立した日常生活を営むことができるように身体介護や生活援助等をおこないます。

あわせて、本年度から実施される日常生活支援総合事業の生活支援サービスとして要支援認定相当の方への予防訪問介護をおこないます。

また、新たに利用者の多様なニーズに応えるため、保険外の自費による有償の通院の付き添いや家事援助サービスに取り組みます。

□訪問介護事業

事業名等	内 容	備 考
(1)訪問介護	介護保険の要介護認定を受けた方を対象として、その方の有する能力に応じ、	○介護保険法

	自立した日常生活を営むことができるよう生活援助及び身体介護などの援助をおこないます。	
(2) 介護予防訪問介護【新規】	市が必要と認めた要支援認定相当の方に調理、買物、掃除等の生活援助をおこないます。	○市施策（総合事業地域支援事業）
(3) 介護保険適用外ヘルパー事業【新規】	介護保険適用外の通院の付き添いや家事援助等のサービスを利用者自費負担でおこないます。	○自主事業
(4) ヘルパー研修	事業所のヘルパー全員を対象にして、ヘルパーの資質向上と質の高い均一なサービス提供をめざして研修をおこないます。	○毎月1回開催 ○主な内容 ・困難事例のケース検討 ・介護食の調理実習 ・感染症についての学習
(5) 介護講座	地域や団体等からの要請に応じ、介護の手法や介護用品の使用方法などヘルパーによる講習をおこないます。	○随時

#### □障がい者居宅介護事業

事業名等	内 容	備 考
(1) 居宅介護	障がい者が自立した日常生活を営むことができるよう、家事援助や身体介護、生活上の相談及び通院時の介助など生活全般にわたる援助をおこないます。	○障害者総合支援法 障がい福祉サービス
(2) 同行援護	視覚障がい者で、移動に著しい困難がある方に、外出時に同行し、移動に必要な情報を提供するとともに、移動の援護、排せつ及び食事等の介護等の支援をおこないます。	○障害者総合支援法 障がい福祉サービス
(3) 移動支援	屋外での移動が困難な障がい者（児）が充実した日常生活を営むことができるよう、社会生活に不可欠な外出や社会参加のための外出時の援助をおこないます。	○市施策（地域生活支援事業）

7. 相談支援事業（本年度予算額 11,898 千円 前年度 12,108 千円）

「社協障がい者地域相談支援センター」として「一般相談支援事業所」、「特定相談支援事業所」及び「障がい児相談支援事業所」を運営し、地域の障がい者（児）、その保護者、介護者などからの相談に応じ、情報提供、助言等をおこなうとともに虐待の防止や権利擁護のために必要な援助をします。

□障がい者地域相談支援センター事業【H29 予算 9,428 千円】

事業名等	内 容	備 考
(1) 一般相談支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域移行支援 入所施設・精神病院等を利用する 18 歳以上の者を対象として地域での生活へ移行するための支援として相談、計画作成、外出支援及び住居確保等をおこないます</li> <li>・ 地域定着支援 居宅において単身で生活を始めた障がい者等を対象に常時の連絡体制を確保し、緊急時に必要な支援をおこないます。</li> </ul>	○障害者総合支援法
(2) 特定相談支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画相談支援 障がい者からの相談に応じ、サービス事業者等との連絡調整をおこない、福祉サービスを利用するためのサービス等利用計画の作成、サービス等の利用状況の検証をします。</li> </ul>	○障害者総合支援法
(3) 障がい児相談支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画相談支援 障がい児からの相談に応じ、サービス事業者等との連絡調整をおこない、福祉サービスを利用するための障害児支援利用計画の作成、サービス等の利用状況の検証をします。</li> <li>・ 障害児相談支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 障害児支援利用援助 障害児通所支援の申請に係る支給決定前に、障害児支援利用計画案を作成し、支給決定後にサービス事</li> </ul> </li> </ul>	○障害者総合支援法

	<p>業者等との連絡調整等をおこなうとともに、障害児支援利用計画の作成をおこないます。</p> <p>●継続障害児支援利用援助</p> <p>支給決定されたサービス等の利用状況の検証（モニタリング）をおこない、サービス事業者との連絡調整などをおこないます。</p>	
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

□日常生活自立支援事業【H29 予算 1,205 千円】

判断能力の低下により日常生活に不安がある高齢者、障がい者のために適切な福祉サービス等を利用しながら安心して暮らせるように日常生活自立支援事業をおこないます。

事業名等	内 容	備 考
(1) 日常生活自立支援の実施	<p>高齢者や障がい者等で判断能力に不安があり、自己選択・決定の難しい方の在宅での生活を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉サービスの利用援助 1,200 円/回</li> <li>・日常的な金銭管理サービス 1,200 円/回</li> <li>・重要書類等の預かりサービス 3,000 円/年</li> </ul>	<p>○県社協事業</p> <p>○本人の意思による契約を経て実施</p>

8. 高齢福祉推進事業（本年度予算額 50,245 千円 前年度 42,810 千円）

□老人クラブ連合会指導員派遣事業【H29 予算 1,205 千円】

老人クラブ及び老人クラブ連合会の運営を事務局として補佐するため、老人クラブ指導員を市の委託により配置します。

事業名等	内 容	備 考
(1) 老人クラブ指導員の配置	<p>高齢者の社会参加促進のための単位老人クラブの育成、指導及び市老人クラブ連合会の行事や活動の相談・指導、事務をおこないます。</p>	○指導員 1 名

□敬老事業【H29 予算 3,778 千円】

「長年にわたり社会や家庭に貢献してきた高齢者を敬愛し、長寿を祝う」ことを趣旨として、市の委託により、敬老週間に「75歳のつどい」を開催します。

事業名等	内 容	備 考
(1)「75歳のつどい」の開催	75歳の高齢者を対象につどいを開催し、これまでの労をねぎらい敬老のお祝いを行います。	【H29 予算 3,367 千円】 ○地区別開催 ○アトラクションと会食

□いきがいサロン事業【H29 予算 45,262 千円】

これまで、市の委託事業として、65歳以上の高齢者の生きがいづくりや健康づくり、認知症・介護予防を目的とした交流の場として運営してきた「いきがいサロン」を本年4月から始まる日常生活支援総合事業にあわせ、社協の自主事業として経営していきます。地域支援サービスの通所型サービスA型（基準緩和したデイサービス）として、利用者にとって魅力的なサロンとなるよう努めるとともに、開設場所を統合して効率的な運営をめざします。

事業名等	内 容	備 考
(1)いきがいサロンの経営【新規】	市内5カ所の老人憩の家等で、ミニデイサービスとして運動機能や認知機能が低下しつつある要支援認定相当の高齢者を対象に、通所により絵手紙、気功、俳句・川柳、大正琴などのレクリエーションや介護予防体操などをおこない、利用者の心身機能維持と改善に努め、自立した生活を過ごしていただけるようにします。  ・開設日 月～金曜日（祝日開催） ・時 間 10:00～15:00 ・利用料 1,235 円/月 ・送迎料 100 円/月 ・昼食代 400 円	○開設場所及び開設日数 長寿館（福祉会館2階） 2日/週 ふれあいプラザ 3日/週 犬山西老人憩の家 3日/週 前原老人憩の家 3日/週 羽黒東部老人憩の家 4日/週

9. 資金貸付事業（本年度予算額 971 千円 前年度 1,964 千円）

愛知県社会福祉協議会の委託により、他の機関からの借り入れが困難な低所得、障がい者、高齢者世帯を対象に、世帯の経済的自立、生活意欲の助長促進、在宅福祉・社会参加を目的として、民生・児童委員、市福祉課等関係機関と連携を取り、専門職員を配置し、適正な生活福祉資金等の貸付と償還事務手続きをおこないます。

□生活福祉資金貸付事業【H29 予算 468 千円】

事業名等	内 容	備 考
(1)福祉費	自立した日常生活をおくることができるよう一時的に必要な生業、技能修得、住宅改修、障がい者用自動車の購入、療養、冠婚葬祭等にかかる費用の資金貸付をおこないます。	○償還期間 3～20 年 貸付利子 無利子 連帯保証人有 無 年 1.5% " 無
(2)緊急小口資金	緊急的かつ一時的に生計の維持が困難になった場合に立替的に少額の経費の貸付をおこないます。	○貸付限度 10 万円以内 償還期間 8 か月以内 貸付利子 無利子 保証人 不要
(3)教育支援資金	学校教育法に規定する高校、短大、大学、専修学校に修学するための費用と、入学に際し必要な経費を貸付けます。	○償還期間 20 年以内 貸付利子 無利子 保証人 不要 ※世帯内で連帯借受人が必要
(4)不動産担保型生活支援資金	現在居住している自己所有の住居に、将来にわたって住み続けることを希望する高齢者世帯に対し、その建物、土地を担保として生活資金の貸付をします。 ○貸付対象 不動産評価額 1,500 万円以上 ※マンションは非該当 不動産に賃借権、抵当権の設定無 単独、又は同居の配偶者との共有 等の諸条件あり	○貸付限度 土地評価額の 70% 償還期限 終了時に一括償還 貸付利子 3%又は長期プライムレート利率 連帯保証 推定相続人から 1 名
(5)要保護世帯向け不動産担保型生活支援資金	不動産を保有する要保護状態の高齢者世帯に対し、不動産を担保に生活資金の貸付をおこない、世帯の自立支援や生活保護制度の適正化に寄与します。	○貸付対象 ・不動産評価額概ね 500 万円以上※集合住宅含む ・保護実施機関が認める世帯

(6)総合支援資金	<p>失業等による日常生活の困窮や生活の立直しのために、一時的な資金貸付をすることで解決・自立できる世帯に、生活支援の貸付をおこないます。</p> <p>○生活支援費 就職して生活再建する間の生活費 ・貸付限度 単身月額 15 万円以内 複数月額 20 万円以内 ・貸付期間 最長 12 カ月以内</p> <p>○住宅入居費 住宅手当緊急特別措置事業の住宅手当対象者に賃貸契約を結ぶために必要な費用 ・貸付限度 40 万円以内</p> <p>○一時生活再建費 生活を再建するための一時的な日常生活費で賄えない費用 ・貸付限度 60 万円以内</p>	<p>○償還期間 最大 20 年内 貸付利子 連帯保証人有 無利子 " 無 年 1.5%</p> <p>○市福祉課、ハローワーク等の関係機関と連携して事業をすすめます</p>
(7)臨時特例つなぎ資金	<p>生活保護や住宅手当などの受給が決定している者に、手当等の給付までの間の生活費について貸付けます。</p>	<p>○貸付限度 10 万円以内 無利子</p>

□くらし資金貸付事業【H29 予算 504 千円】

事業名等	内 容	備 考
(1)くらし資金	<p>不時の出費等の為に、日々の暮らしの維持が困難になった低所得世帯に対し、必要な生活費等のつなぎ資金の貸付けをおこないます。</p>	<p>○貸付限度 10 万円以内 償還期間 12 か月 貸付利子 無利子 連帯保証人 必要</p>

10. 基金運営事業（本年度予算額 55 千円 前年度 120 千円）

地域福祉の充実のための財源として、多年にわたる市民からの寄付金と犬山市からの補助金をもとに「市民福祉基金」を設け、その利子を地域福祉事業に活用します。

また、社会福祉協議会がおこなう各事業が安定して円滑に遂行されるよう介護保険事業の剰余金を積み立て「運営基金」を設けています。

□市民福祉基金運営事業【H29 予算 50 千円】

事業名等	内 容	備 考
(1)市民福祉基金	基金の利子を一般会計に繰入れ、他の寄付金と合わせて地域福祉事業の財源として活用します。	○預入先 市内各銀行、信用金庫、 農協 等 ・定期預金にて運用

□運営基金運営事業【H29 予算 5 千円】

事業名等	内 容	備 考
(1)運営基金	各自主事業所の設備、備品、車両等の更新費用、採算悪化への準備金として活用します。	○預入先 信用金庫 ・定期預金にて運用



「ふ」だんの「く」らしを「し」あわせに

